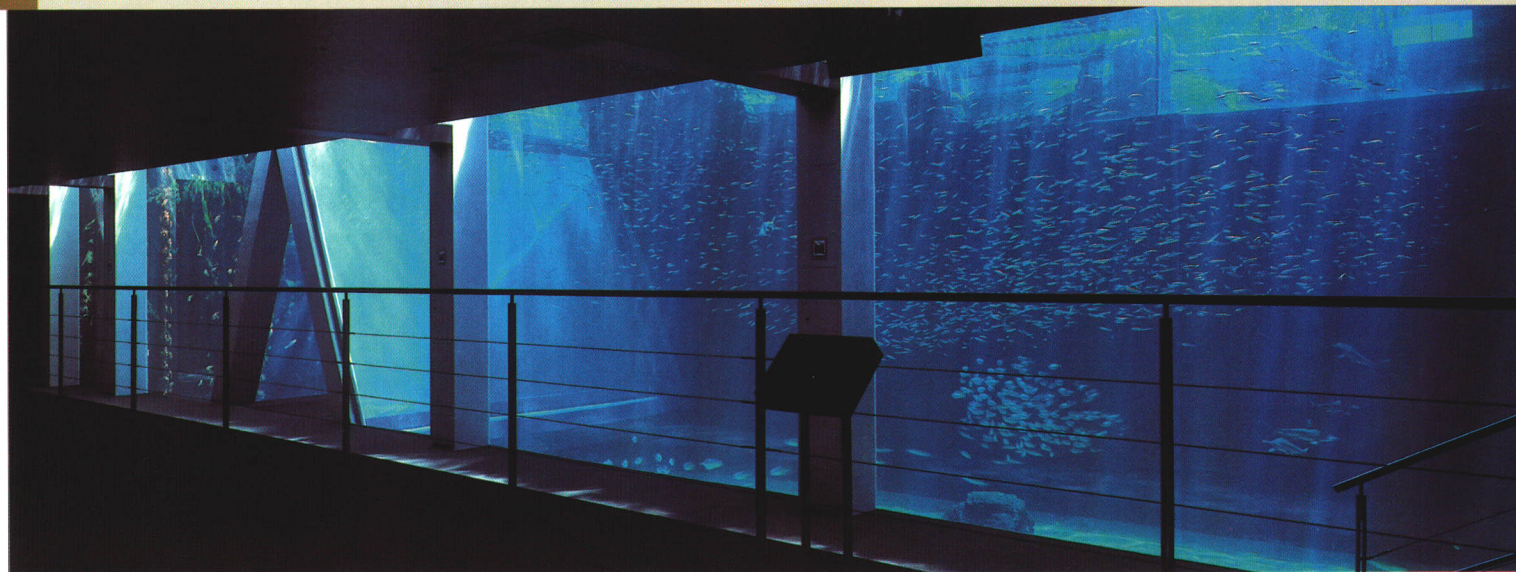


黒潮は、福島県沖を流れる強大な暖流です。その流れの中では、海洋を泳ぎまわるさまざまな回遊魚たちが暮らしています。ここでは、プランクトンをエサにするマイワシなどの小魚やそれをエサにするマグロ類、さらに大型のサメ類などを紹介しています。



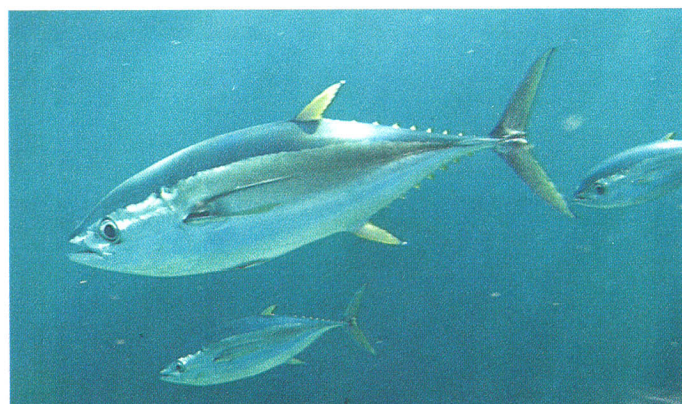
▲黒潮水槽

### (3) カツオやマグロの仲間

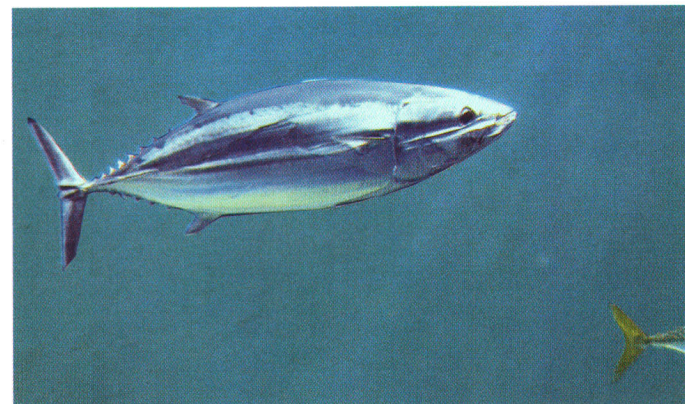
水槽の中のカツオ、キハダ、メバチの体を見てみると、この仲間は、水の中を高速で泳ぐのに適した体をしていることが分かります。まず、全体の形はミサイルのような

紡錘形で、水の抵抗が少なくなっています。さらによく見ると、まっすぐに速く泳ぐときは各ヒレをたたんだり、体にぴったりとつけてより抵抗を少なくしているのが

分かります。ゆっくり泳ぐとき、曲がる時などのそれぞれの泳ぎ方のヒレの使い方も観察してみましょう。



▲キハダ



▲カツオ

### (3) イワシの群れ

小さく弱い魚たちが、群れをつくることについては、防衛効果、エネルギー保持効果など、さまざまな説がとらえられていますが、まだまだ分からないことがたくさんあります。水槽の中のマイワシやカタクチイワシの群れは、みごとに統率がとられていて、リーダーがいるように見えます。しかし、群れをよく見ると、群れの先頭を泳ぐのはいつも同じ魚ではありません。向きが変わったり、群れの形が変わるたびに先頭が変わっているのが分かります。



▲マイワシの群